



We pray in 100 conches

祈願

平成二十八年十一月七日 曜日
八日 火曜日

【二日目行程】

平成 28 年 11月 7日(月)

10:00～11:00 本蔵院集合 着替え・準備
11:30 出立式・説明会(本蔵院本堂)
12:15 本蔵院出立 加藤神社まで徒歩練行(約2.5km)
14:00 加藤神社 復興祈念法要 醍醐桜植樹
15:00 記念撮影
16:00 還列 バスにて阿蘇へ出発
16:30 本蔵院経由
17:10 熊本空港経由
18:00 阿蘇宿泊施設(阿蘇の司ピラパークホテル) 着
19:00 小宴

【集合場所】

〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘6丁目15-50 本蔵院



【二日目行程】

平成 28 年 11月 8日(火)

6:30 朝食 着替え・出立準備
7:10 バスにて国造神社へ
7:30 国造神社着
8:00 国造神社出立 阿蘇神社まで徒歩練行(約5km)
9:30 阿蘇市役所 小休止
9:50 市役所出立
10:00 阿蘇神社 復興祈念法要 醍醐桜植樹
11:00 記念撮影
12:00 バスにてホテルへ
12:20 昼食と着替え 出発準備
13:30 ホテル発
14:20 熊本空港経由
15:00 熊本駅経由
15:30 本蔵院着



熊本地震が起きた今だからこそ実現を 「百螺祈願」の歴史的背景と意義

熊本城と加藤清正

熊本城主・加藤清正公は、今から約400年前の慶長年間に熊本城を築城されます。その築城に際し清正公は、龍蔵院という山伏を招き、地鎮祈祷の法要を営んでおられます。

この史実から、この祈りを現代に再現できないかと思いついたのが今回の企画です。醍醐派の青年僧侶約百名を、清正公を主祭神とする加藤神社に集結さ



せ、今回の地震で傷ついた熊本を鎮める地鎮祈祷を行います。さらには、山伏百名による百丁の法螺貝を清正公に奉納し、一日も早い熊本および熊本城の復興の祈りを届けるものでございます。

その際、醍醐派熊本宗務所本蔵院を出発地として、熊本市街地を法螺貝をたてながら練行し、約1時間かけて熊本城内加藤神社へ向かいます。

阿蘇神社と阿蘇修験

阿蘇の信仰は、阿蘇山火口をご神体としています。その昔、阿蘇では阿蘇谷に鎮座する阿蘇宮(現在の阿蘇神社)と、阿蘇山上の坊中(山岳修験勢力)という二つの宗教拠点を持っていました。そのうち坊中と呼ばれる僧侶や山伏の坊舎は、現在の草千里付近に薨を並べていたとされます。



一説には、天竺からやってきた最栄という僧侶が火口近くで十一面観世音菩薩を感得し、それを祀ったのが起こりといわれています。

昔、阿蘇にはいつも山伏の法螺の音が轟いていたに違いありません。今回、この歴史的背景をふまえ、もう一度この修験の山に法螺の音を響かせ、阿蘇の神々に祈りを捧げるべきだと考えました。そこで阿蘇神社様へお願いをし、祈念法要を厳修させていただくことになりました。これもまた時代を超えた阿蘇の本来の姿を再現するものでございます。

醍醐の桜

総本山醍醐寺は、応仁・文明の乱で荒廃した際、豊臣秀吉の後援を受け復興した、秀吉ゆかりのお寺です。晩年、秀吉は醍醐寺にて「醍醐の花見」を行っています。このとき秀吉は、畿内や奈良吉野の桜七百本を醍醐寺に移植させ、その桜を醍醐山の上から眺めたとされています。



醍醐寺にはいまでも、秀吉が花見を行った桜の子孫であるクローン桜が植えられています。今回この桜を、秀吉から清正への贈り物として加藤神社と阿蘇神社にて植樹させていただくことになりました。時代を超えて、熊本復興の新たなシンボルとしてこの地に秀吉の桜が咲くことになります。

● お問い合わせ・お申込み先

醐山青年連合会 百螺祈願実行委員会事務局

〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘6丁目15-50 本蔵院内

実行委員長蔵本崇正携帯:090-4589-0130 ☒mail@honzouin.or.jp

tel.096-364-4848 fax.096-364-9570

f facebook内で「百螺祈願」で検索



こちらにアクセスをし、
最新の詳細情報を取得下さい。
<http://hyakurakigan.honzouin.or.jp>

今、熊本に祈る

この秋、熊本地震からの復興を祈り

「百螺祈願」を執り行います

平素より当会活動運営に際しまして、

多大なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

この度、醐山青年連合会（以下、醐青連）では、

去る四月十四日・十六日に起こりました、熊本地震の復興支援として、

「百螺祈願（ひゃくらきがん）」を企画いたしました。

この企画は、傷ついた熊本の地を鎮め、新たな復興への一歩として

熊本の皆様と祈りを共にいたしたいという思いから発案いたしました。

現在、熊本県の調べによると、県内千カ所を超える神社仏閣が倒壊し、

再建や修復が必要な状態ということです。

特に県民の心より処でもあった熊本城および阿蘇神社が激しく損壊したことは、皆さんもよく知るところだと思います。

この神社仏閣の一刻も早い復興を願わずにはられません。

実は、醐青連では震災前、熊本の霊山で修行を行う企画を立てておりました。

しかしながら、今回の地震を受け、震災前に立ち上げた企画は一旦中止に。

被害を心配してくれた醐青連の仲間たちが遠くは青森から、多方面より熊本に来てくださいました。

私はこの仲間たちと支援を行うなかで、仲間たちとともに醍醐派の僧侶として

この熊本に何かできないかと考えるようになりました。

それから私は、熊本城や熊本城主・加藤清正公、阿蘇神社などの歴史を紐解きました。

そうするとある史実に出会い、一つのひらめきが生まれました。

そしてこれは、熊本で被災した醍醐派僧侶、

そして醐青連の仲間にしかなないことだという思いを抱きました。

それが、今回皆様にお知らせしたい「今、熊本に祈る 百螺祈願」という行事です。

熊本のお話に倣い、百丁の法螺貝をたて熊本の地鎮と復興を願います。

総本山醍醐寺様、真言宗醍醐派様にも協力を得ての壮大な企画です。

どうか皆様、是非この趣旨にご賛同たまわり、お一人でも多くの方にご参加いただきますよう、

切に切に願うものがございます。

合 掌

醐山青年連合会 副理事長・同九州支部 支部長・百螺祈願実行委員長

熊本・本蔵院 藏本 崇正